

編輯後記

◇ 本學會も創立以來、順調なる發展を遂げて、早や四ヶ年を終らんとして居ります。去る一月の宮中御講書始の御儀式に於て、會長諸橋先生には御進講控としての御榮譽を擔はれました。先生及び御一家は勿論のこと、我が漢文學會の名譽であり、本學會の進展を物語るものとして、衷心より慶賀に堪へない次第であります。この時に當つて、本年度の成果を収め、茲に會報第四號を發刊するを得ましたことは、我々一同の欣快とするところであります。

◇ 過去一年を回顧するに、春、村山野水池に遊び、秋、三浦半島を巡り、内溢るゝが如き親睦の下に、講演會に研究發表會に、目覺ましい發展と成果を収め、而して今や新に卒業生四兄を送ることになりました。何れも俊秀有爲の士、斯文の爲め國家の爲め、大いに盡瘁せられんことを切望して已みません。

◇ 本號編輯に當り、諸橋先生及び小林・市川先輩より、御多忙中特に玉稿を賜はりまして、厚く御禮申し上げます。又卒業生諸兄が、卒業論文の一部を掲載し下さつたことを幸とします。只編輯者の至らざる爲め、發刊が遅れ、又種々不備の點あるを御詫び申し上げます。最後に會員御一同の健康と發展とを御祈り申し上げます。(昭一一、二、二五)

漢文學會々報 第四號

昭和十一年三月十日 印刷
昭和十一年三月十五日 發行

【非賣品】

編輯者 東京文理科大學 漢文學會
松 村 利 行

印刷者 東京市荏原區戸越町一二九八
市 川 活 版 所

印刷人 東京市荏原區戸越町一二九八
市 川 茂 市

發行所 東京市小石川區大塚窪町
東京文理科大學漢文學會

東京文理科大学漢文學會會則

- 一、本會ハ東京文理科大学漢文學會ト稱シ、事務所ヲ東京文理科大学漢文學研究室室内ニ置ク
- 二、本會ハ漢文學ノ研究及ビ普及ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 三、本會ノ會員ハ左ノ人々ヲ以テ組織ス
 - 1 東京文理科大学及ビ東京高等師範學校漢文學科關係ノ教官ニ講師
 - 2 東京文理科大学漢文學科生及ビ卒業生
 - 3 東京高等師範學校文科第二部(國漢)生徒及ビ卒業生中漢文研究ニ篤志ナル者
 - 4 其ノ他ノ漢文學研究ニ篤志ナル者
- 四、本會ノ主ナル事業左ノ如シ
 - 1 研究發表會
 - 2 講演會
 - 3 研究旅行
 - 4 雜誌發行
 - 5 其ノ他必要ナル事項
- 五、本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 1 會長一名
 - 2 顧問若干名
 - 3 評議員若干名
 - 4 委員十名
- 六、會長ハ本會ヲ代表シ、會務ヲ總理ス

一七六

- 顧問ハ會長ノ諮詢ニ應ズ
- 評議員ハ評議員會ヲ組織ス
- 評議員會ハ會長之ヲ召集シ、重要ナル會務ヲ議ス
- 會長ノ委囑ニヨリ評議員中一名ヲ會計監督トス
- 委員ハ會長ノ指示ヲ受ケ、會ノ研究、會計、編輯ノ事務ヲ分擔ス
- 七、會長ニハ東京文理科大学漢文學科主任教授ヲ推ス
- 評議員ハ東京文理科大学並ニ東京高等師範學校漢文學科關係ノ教官講師及ビ其ノ他ニツキテ會長之ヲ委囑ス
- 顧問ハ評議員會ニテ之ヲ推薦ス
- 委員ハ東京文理科大学漢文學科學生中ヨリ六名、其ノ他ヨリ四名、會員ノ互選ニヨリテ選出シ其任期ヲ一ケ年トス、但シ重任ヲ妨ゲズ
- 八、本會會則ノ變更ハ評議員會ノ議決ヲ經ベキモノトス
- 九、會員ハ會費年額金壹圓ヲ納ムベキモノトス
- 附 規
- 一、東京文理科大学漢文學科卒業生並ニ學生ハ會費ノ外別ニ年額金壹圓ヲ納ム可キコト
- 一、東京高等師範學校生徒ハ會報雜誌實費トシテ金拾錢ヲ納入スルコト
- 一、委員ノ改選ハ二月中ニ行フコト

以上